

令和6年度 県土整備委員会 県外視察の概要

1 参加委員等

(1) 委員

梶原一哉（委員長）、須見一仁、井川龍二、原徹臣、庄野昌彦、沢本勝彦

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
7月17日(水)	長崎県庁（長崎県長崎市）
7月18日(木)	益城町役場（熊本県益城町）
	益城町復興まちづくりセンターにじいろ（熊本県益城町）
	布田川断層帯（熊本県益城町）
	新阿蘇大橋（熊本県南阿蘇村）
7月19日(金)	大分市役所（大分県大分市）
	大分いこいの道（大分県大分市）

3 調査目的及び視察概要

(1) 長崎県庁（長崎県長崎市）

(調査目的)

長崎県では、長崎市内の都市交通の円滑化や東西市街地の一体的で均衡ある発展に寄与することを目的とした、JR長崎本線連続立体交差事業に取り組んでいる。

そこで、鉄道高架化等とあわせたまちづくりや地域活性化の取組等について調査する。

(視察概要)

JR長崎本線連続立体交差事業について説明を受けた後、長崎駅及び鉄道高架部分を見学しました。



(2) 益城町役場（熊本県益城町）

(調査目的)

益城町では、熊本地震からの復旧・復興の取組として、り災証明書の交付や各種相談窓口の開設、仮設住宅や災害公営住宅の整備や生活支援を行うなど、様々な被災者支援を展開している。また、熊本地震の教訓を活かした防災体制の強化や企業誘致の推進など、復興のまちづくりを進めている。

そこで、熊本地震という大規模災害からの復旧・復興の取組について調査する。

(視察概要)

大規模災害からの復旧・復興の取組について説明を受けた後、益城町復興まちづくりセンターにじいろ、布田川断層帯（谷川地区）を見学しました。



(3) 新阿蘇大橋（熊本県南阿蘇村）

(調査目的)

熊本県では、熊本地震で崩落した旧阿蘇大橋の架け替え工事を行い、新阿蘇大橋を開通させているが、高度な施工技術の導入や構造的工夫など、徹底した合理化施工と多彩な技術・工夫により、全体として約1年4か月の工期短縮を図り、早期の供用を実現している。

そこで、災害からの早期復旧の取組等について調査する。

(視察概要)

災害からの早期復旧の取組等について説明を受けました。



(4) 大分市役所（大分県大分市）

(調査目的)

大分市では、鉄道により分断されていた大分駅南北市街地の一体化を図り、駅北の商業業務中核都心と駅南の情報文化新都心との役割分担の中で、ゆとりと潤いのある新都心を創出することを目的として、大分駅周辺総合整備事業に取り組んでいる。

そこで、総合的なまちづくりを行う取組等について調査する。

(視察概要)

総合的なまちづくりを行う取組について説明を受けた後、大分いこいの道を見学しました。

